



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場会社名 アートsparkホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3663 URL <http://www.artspark.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川端 一生
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 星 和彦 (TEL) 03-3710-2985
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	2,341	△15.3	△313	—	△337	—	△341	—
25年12月期第3四半期	2,764	—	△80	—	△73	—	△89	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 △341百万円(—%) 25年12月期第3四半期 △56百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	△51.42	—
25年12月期第3四半期	△13.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	3,401	1,965	56.5
25年12月期	3,650	2,286	61.9

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 1,922百万円 25年12月期 2,259百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,775	2.4	63	—	36	—	26	△39.3	3.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年12月期3Q	6,647,375株	25年12月期	6,636,770株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	1,730株	25年12月期	1,270株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年12月期3Q	6,645,154株	25年12月期3Q	6,635,038株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

携帯端末市場の中心がスマートフォンへと急速に移行していく中で、当社グループは積極的に事業構造改革を進めており、コスト削減と利益率の向上を目指す一方で、戦略投資事業における投資の成果であるクリエイターサポート事業の強化及びUI/UX（ユーアイ/ユーエックス）事業の市場拡大を進めております。

当第3四半期連結累計期間においては、各事業セグメントにおいて、継続的に販売活動の強化を推進するとともに、前連結会計年度に実施した事業構造改革の成果による人件費の圧縮や減価償却費の軽減が、売上原価及び販売管理費の圧縮に貢献しております。これらの施策の結果、クリエイターサポート事業が黒字化しております。また、UI/UX事業における関西地域の事業基盤の拡大を目的として株式会社エイチアイ関西を孫会社化し、「デザインエンジニアリング」の推進強化の目的で株式会社U'eyes Designを孫会社化する等、積極的な拡大施策を展開しております。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は2,341,789千円（前年同期比15.3%減）となりました。

UI/UX事業において、利益率の高いロイヤリティ収入の計上時期が翌四半期へずれこんだ影響等により、営業損益につきましては、313,766千円の営業損失（前年同期は80,929千円の営業損失）となりました。

また、経常損益につきましては、支払利息7,883千円、為替差損3,496千円の計上や、当社の持分法適用会社であるガラット株式会社に対する投資持分について、持分法による投資損失9,535千円を計上したこと等により、337,196千円の経常損失（前年同期は73,624千円の経常損失）となりました。純損益につきましては、株式会社エイチアイ関西の取得による負ののれん発生益13,849千円の計上等により、341,705千円の四半期純損失（前年同期は89,814千円の四半期純損失）となりました。

事業別セグメントにつきましては、以下のとおりであります。

<コンテンツソリューション事業>

コンテンツソリューション事業の中心である携帯電話市場におきましては、平成26年6月末で国内携帯電話加入契約数が1億4,106万台（前年比5.8%増）となっております。（社団法人電気通信事業者協会発表「携帯電話・PHS契約数」より）

このような経営環境の中、電子書籍ビューア「BS Reader for Browser」をiPhone・iPad向け最新OSの「iOS8」に対応させる等の施策を推進しております。また、「BS Reader for Browser」が利用されている電子書籍配信サービス数は、平成26年9月末では900サービス超となっております。

以上の結果、総合電子書籍ビューア「BS Reader」を軸として推進するコンテンツソリューション事業の売上高は、858,380千円（前年同期比8.4%減）となり、営業利益は34,678千円（前年同期比51.9%減）となりました。

<クリエイターサポート事業>

当第3四半期連結累計期間では、マンガ・イラスト制作ソフトウェア「CLIP STUDIO PAINT」のフランス語版、スペイン語版の販売を開始し、パリで開催のJapan Expoに出展しました。また、KADOKAWA Contents Academy株式会社の海外コンテンツスクール事業でマンガ・イラスト制作ソフトウェア「CLIP STUDIO PAINT EX」が教材として採用される等、海外市場の開拓を推進しております。

なお、クリエイターの創作活動をトータルに支援するサイト「CLIP」においては、平成26年9月末時点の登録者数は44万人となっております。

以上の結果、売上高は522,977千円（前年同期比15.2%増）、営業利益は5,796千円（前年同期は97,590千円の営業損失）となりました。

<UI/UX事業>

当第3四半期連結累計期間では、「デザインエンジニアリング」をテーマに、自動車関連分野を中心として、組込みUIノウハウを集約した次世代UIオーサリングツールである「exbeans UI Conductor（エックスビーンズ ユーアイ コンダクター）」の販売に注力すると共に、受託開発案件の受注活動を強化してまいりました。その結果顧客基盤の拡大が進み、受注状況は堅調に推移しております。費用面では開発プロセスの管理強化等の施策によって外注費を中心とした製造原価の削減を進めておりますが、利益率の高いロイヤリティ収入の計上時期が翌第4四半期にずれ込んだこと等から、売上高、営業利益ともに前年同期比較で大きく減少しております。

今後の事業拡大に向けて、関西方面での顧客対応を強化する目的で、株式会社エイチアイ関西を平成26年2月に孫会社化いたしました。また、「デザインエンジニアリング」の活動を強化し、その推進を加速させる目的で、株式会社U'eyes Designを平成26年4月に孫会社化いたしました。

以上の結果、売上高は882,418千円（前年同期比21.5%減）、営業損益は404,051千円の営業損失（前年同期は126,719

千円の営業損失)となりました。

<アプリケーション事業>

アプリケーション事業につきましては、前連結会計年度より事業の縮小を進めております。新規の事業活動は行っておらず、継続中のサービス運用業務の手数料収入を収益計上しております。

以上の結果、売上高は113,303千円(前年同期比54.9%減)、営業利益は40,308千円(前年同期比87.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて249,149千円減少し3,401,555千円となりました。この主な要因は、仕掛品が19,619千円、ソフトウェアやのれん等の無形固定資産が294,803千円増加した一方で、現金及び預金が514,795千円、売掛金が44,306千円減少したこと等によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて71,257千円増加し1,435,749千円となりました。この主な要因は、短期借入金が34,065千円増加したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて320,407千円減少し1,965,806千円となりました。この主な要因は、新株予約権が5,651千円、少数株主持分が11,314千円増加する一方で、利益剰余金が341,705千円減少したこと等によるものであります。なお、自己資本比率は、56.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の連結業績予想につきましては、平成26年1月31日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

特定子会社の異動はありませんが、第1四半期連結会計期間において、株式会社エイチアイ(当社の連結子会社)が、株式会社エイチアイ関西の株式を取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。

また第2四半期連結会計期間において、株式会社エイチアイが、株式会社U'eyes Designの株式を取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,323,533	808,737
売掛金	552,076	507,769
製品	30,453	19,532
仕掛品	18,926	38,546
原材料及び貯蔵品	99,376	93,426
その他	119,140	117,057
貸倒引当金	△12,608	△6,128
流動資産合計	2,130,897	1,578,940
固定資産		
有形固定資産		
建物	113,436	126,799
減価償却累計額	△77,681	△84,441
建物(純額)	35,755	42,357
工具、器具及び備品	209,417	247,305
減価償却累計額	△189,439	△212,000
工具、器具及び備品(純額)	19,977	35,304
有形固定資産合計	55,733	77,662
無形固定資産		
ソフトウェア	855,846	956,597
ソフトウェア仮勘定	88,189	166,411
のれん	27,964	142,210
その他	31,039	32,624
無形固定資産合計	1,003,040	1,297,843
投資その他の資産		
投資有価証券	203,623	188,323
敷金及び保証金	193,517	201,711
その他	55,978	51,276
貸倒引当金	—	△290
投資その他の資産合計	453,119	441,021
固定資産合計	1,511,893	1,816,527
繰延資産	7,914	6,087
資産合計	3,650,704	3,401,555

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	168,904	127,785
短期借入金	390,000	424,065
1年内返済予定の長期借入金	206,879	161,036
未払法人税等	19,776	14,140
返品調整引当金	8,292	3,834
賞与引当金	—	18,219
その他	227,154	290,097
流動負債合計	1,021,006	1,039,179
固定負債		
長期借入金	267,512	314,147
退職給付引当金	72,078	78,369
繰延税金負債	3,895	4,053
固定負債合計	343,485	396,569
負債合計	1,364,491	1,435,749
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,320	1,003,158
資本剰余金	479,447	482,285
利益剰余金	773,184	431,479
自己株式	△609	△865
株主資本合計	2,252,343	1,916,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,382	6,296
その他の包括利益累計額合計	7,382	6,296
新株予約権	26,486	32,137
少数株主持分	—	11,314
純資産合計	2,286,213	1,965,806
負債純資産合計	3,650,704	3,401,555

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,764,150	2,341,789
売上原価	1,898,155	1,771,991
売上総利益	865,995	569,798
返品調整引当金戻入額	3,775	8,292
返品調整引当金繰入額	8,601	3,834
差引売上総利益	861,169	574,256
販売費及び一般管理費	942,098	888,022
営業損失(△)	△80,929	△313,766
営業外収益		
受取利息	371	624
受取配当金	6,900	92
為替差益	2,200	-
関係会社清算損失引当金戻入益	6,395	-
事業構造改革引当金戻入益	14,934	-
貸倒引当金戻入額	-	853
還付加算金	1,813	857
その他	567	494
営業外収益合計	33,183	2,922
営業外費用		
支払利息	6,821	7,883
為替差損	-	3,496
持分法による投資損失	13,055	9,535
その他	6,000	5,435
営業外費用合計	25,878	26,351
経常損失(△)	△73,624	△337,196
特別利益		
負ののれん発生益	-	13,849
新株予約権戻入益	4,839	595
持分変動利益	7,438	-
その他	-	1,352
特別利益合計	12,277	15,798
特別損失		
支払和解金	7,600	-
投資有価証券評価損	11,004	1,027
持分変動損失	1,395	-
特別損失合計	19,999	1,027
税金等調整前四半期純損失(△)	△81,345	△322,426
法人税等	8,469	18,043
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△89,814	△340,469
少数株主利益	-	1,236
四半期純損失(△)	△89,814	△341,705

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△89,814	△340,469
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,615	△1,086
その他の包括利益合計	33,615	△1,086
四半期包括利益	△56,198	△341,556
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△56,198	△342,792
少数株主に係る四半期包括利益	-	1,236

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

平成25年3月開催の定時株主総会決議により、利益剰余金の欠損填補を行い、資本剰余金のうち1,388,473千円を減少し、資本剰余金は479,126千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ ソリューション事業	クリエイター サポート事業	UI/UX事業	アプリケー ション事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	933,927	454,149	1,123,835	250,438	2,762,350	1,800	2,764,150
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,267	—	340	980	4,588	△4,588	—
計	937,194	454,149	1,124,176	251,419	2,766,939	△2,788	2,764,150
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	72,168	△97,590	△126,719	21,520	△130,620	49,691	△80,929

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ ソリューション事業	クリエイター サポート事業	UI/UX事業	アプリケー ション事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	823,380	522,686	882,418	113,303	2,341,789	—	2,341,789
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,000	290	—	—	35,290	△35,290	—
計	858,380	522,977	882,418	113,303	2,377,080	△35,290	2,341,789
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	34,678	5,796	△404,051	40,308	△323,268	9,501	△313,766

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社株式会社エイチアイが、株式会社エイチアイ関西の株式を取得し子会社化したことに伴い、UI/UX事業において負ののれん発生益13,849千円を特別利益に計上しております。

また、平成26年4月15日付で株式会社エイチアイは、株式会社U'eyes Designの株式を取得し、子会社化したことにより、UI/UX事業においてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において125,778千円であります。